

令和4事業年度

JA利根沼田 半期開示

(令和4年3月～令和4年8月)

令和4年8月末現在

利根沼田農業協同組合

〒378-0053

群馬県沼田市東原新町1940番地1

TEL : 0278-22-6633

FAX : 0278-22-6666

目 次

I	地域貢献情報	1 ~ 3
1.	地域貢献の全般に関する事項	1
2.	地域からの資金調達の状況	1
3.	地域への資金供給の状況	1
4.	文化的・社会的貢献に関する事項	2 ~ 3
II	財務状況等	4 ~ 6
1.	令和4年8月末（仮決算）の状況	4
2.	貸借対照表	4
3.	損益計算書	5
4.	主要勘定の状況	6
5.	金融再生法開示債権（単体）	6
6.	単体自己資本比率	6
7.	有価証券の時価	6

I 地域貢献情報

1. 地域貢献の全般に関する事項

当JAは、沼田市、みなかみ町、川場村、昭和村、片品村を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の皆様が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営されている協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当JAの資金は、その大半が組合員の皆様などからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としており、資金を必要とする組合員や地域の皆様、地方公共団体などにご融資し、暮らしや事業のお手伝いをさせていただいております。

当JAは、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて事業活動を展開しています。

また、JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業の助け合いを通じた社会貢献に努めています。

2. 地域からの資金調達の状況

組合員をはじめとして、地域の皆様からお預かりした貯金の残高は、885億8千2百万円となっております。（令和4年8月31日現在）

当JAは、組合員および地域の皆様に安心してご利用いただける金融サービスを展開しております。定期貯金や定期積金などでは企画商品やプレゼントグッズをご用意し、幅広いお客様にご好評をいただいております。

また、全国のJA・農林中金で構成するJAバンクはグループ全体のネットワークと統合力で、地域の皆様に身近で便利、そして安心なメインバンクとなることを目指しております。万が一JAの経営基盤が弱くなった場合でも、JAバンクには「JAバンク・セーフティネット」があり、貯金者の皆様に一層の“安心”をお届けしております。

3. 地域への資金供給の状況

組合員をはじめとして、地域の皆様への貸出金の残高は、214億2千3百万円となっております。（令和4年8月31日現在）

さまざまなライフスタイルやニーズに合わせた各種資金をご準備し、地域住民の皆様の暮らしや、農業者・事業者の皆様の事業に必要な資金をご融資しております。特に農業資金においては、長期・低利な農業近代化資金を中心とした制度資金をはじめ、当JA独自の資金としても幅広い資金をご用意しております。また、農業関連産業・地域公共団体などへのご融資を通じ、地域経済の質的向上・発展に貢献しております。

4. 文化的・社会的貢献に関する事項

(1) 社会貢献への取り組み

■少年野球大会への協賛

野球を通じて子供たちが健全な心と体を身につけることを願い、毎年夏に開催される「群馬県少年学童軟式野球大会 利根沼田支部予選会（JAグループ群馬杯）」に協賛し、JA杯の贈呈や優勝・準優勝チームへの副賞、参加チームへの賞品として利根沼田産コシヒカリ『田んぼの王様』を提供し、地域における未来の大切な担い手である子供達を応援しています。今年の大会有には少年野球10チーム、選手190名が参加し、熱戦が繰り広げられました。

■食農教育への取り組み

食と農業についての理解促進を図るため、管内の親子を対象にした「親子農業体験」を平成20年から行っています。ニンジンやトウモロコシ・大根・白菜などの種まき・定植や収穫を実際に体験していただき、収穫の喜びや地元農産物のおいしさ、食の大切さを伝えています。今年度の体験には、全3回の実施で、延べ44名（子供25名、大人19名）の方にお集まりいただきました。

■地元農産物の提供支援（地産地消）

当JA管内には、“旬”の美味しい食材がそろっています。その美味しい地元産の食材を子供達に食べてほしいと、管内のこども園などへ届ける取り組みをしています。地元産のお米はもちろん、リンゴなど旬の美味しい果物は特に人気です。これからもより多くの食材を地元へ届けていきます。

■児童・生徒達へ交通安全の呼びかけ

当JAでは、組合員をはじめ地域住民の生命・財産を危険から守るための保障活動はもとより、多発している交通事故をなくすため、新入学児童への“ランドセルカバー”の贈呈をしている他、こども園の園児を対象として、警察官による腹話術や園庭での横断歩道の渡り方の練習などで交通ルールを学ぶ「交通安全教室」の実施に継続して取り組んでいます。

また、JA共済では、交通安全思想を幅広く社会に訴えることを目的として「JA共済群馬県小・中学生交通安全ポスターコンクール」を開催するなど、交通安全・福祉活動にも積極的に取り組んでいます。

■児童・生徒達の書写教育に貢献しています

JA共済では、組合員はじめ地域住民の生命・財産を危機から守るための保障活動・福祉活動に積極的に取り組み、しあわせの輪を広げたい、“相互扶助の精神”を、次代を担う小・中学生に伝えたいと願い、「JA共済群馬県小・中学生書道コンクール」を開催し、児童・生徒の書写教育に貢献しています。

■ ゴルフ・グランドゴルフ大会の開催

当JAで年金振込をされている受給者の皆さまとのふれあいを目的に、ゴルフやグランドゴルフの大会を開催し、いつも多くの会員の方々に参加していただいておりますが、本年は新型コロナウイルスの影響によりJA全体での開催を中止せざるを得ませんでした。また、短歌・俳句・川柳の大会への募集を行い、趣味の文化活動についても応援しています。

■ 農業まつりの開催

2019年までは「食と農と地域の輪 笑顔いっぱいのおかげのために」をテーマに管内8箇所で開催し、管内農業の情報発信や地域住民との交流を深めさせていただいておりました。

農業まつりは2020年から新型コロナウイルスの影響により中止となっておりますが、当JAの各直売所では、お客様への感謝イベントを随時開催し、来場者プレゼント、牛乳の無料配布、野菜の詰め放題による販売などを行い、地元産農畜産物の消費拡大につながるよう、PRに努めています。

■ 各種相談会の開催

- ① 顧問弁護士が無料で、ご相談に応じる「法律相談会」を毎月開催しています。
- ② 顧問税理士が無料で、ご相談に応じる「税務相談会」を毎月開催しています。
- ③ 年金制度や手続きについて、ご相談に応じる「年金相談会」を開催しています。

■ 地域防災活動への協力

職員の多くは地元消防団の団員として活動し、地域の防災活動に積極的に協力しています。

(2) 情報提供活動

■ JA利根沼田広報誌「夢ing」の発行

当JAは合併以来、広報活動に力を注いでいます。広報活動の中心として、組合員向けの広報誌「夢ing」を毎月発行しており、あわせてJAを地域の方々全般に紹介するための取り組みとして、コミュニティ版広報誌も不定期に発行し、農業やJAの協同活動に関する情報を発信しております。

■ ホームページ (<http://www.jatone.or.jp>)

ホームページでは事業内容や組合員のホームページ・各部会の情報などを紹介している他、“旬”の野菜・果樹などの情報も掲載しております。

■ JA提供のテレビ番組に協力

JAグループ群馬の提供番組“群馬テレビ”「JAみどりの風」の企画に協力し、管内の農業などを紹介しています。

II 財務状況等

1. 令和4年8月末（仮決算）の状況

本年度上半期の実績については下記のとおりであります。

○事業総利益	1,330,840千円	(計画比108.3%)	(前年比102.3%)
○事業管理費	1,101,220千円	(計画比99.0%)	(前年比98.5%)
○事業利益	229,619千円	(計画比197.9%)	(前年比125.9%)
○税引前当期利益	336,502千円	(計画比161.4%)	(前年比117.0%)

販売事業はトマトなどの青果物の販売高が好調で、増益（総利益前年比+10,706千円）となり、また、購買事業は、肥料、農薬、温床・包装資材などの供給高が伸長し、手数料が増加したこと等により増収増益（総利益前年比+42,460千円）となりました。

一方、マイナス金利政策や奨励金の減少等、信用事業は厳しい事業環境下であり、貯金・貸出金残高などの事業実績は伸長しておりますが、減収減益（総利益前年比△18,686千円）となりました。また、共済事業においては、保有契約高や事業奨励金の減少などの影響で、減収減益（総利益前年比△5,730千円）となりました。

さらに、事業管理費は、人件費（前年比△5,131千円）、業務費（前年比△6,092千円）を中心に合計17,097千円の削減となり、税引前当期利益は前期比で49,005千円の増益を達成致しました。

2. 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
1. 信用事業資産	88,435,479	1. 信用事業負債	89,550,028
(1) 現 金	440,571	(1) 貯 金	88,582,188
(2) 預 金	62,087,658	(2) 借 入 金	7,178
(3) 有価証券	4,293,300	(3) その他の信用事業負債	960,662
(4) 貸 出 金	21,423,176	2. 共済事業負債	554,813
(5) その他の信用事業資産	197,430	3. 経済事業負債	1,004,614
(6) 貸倒引当金	△ 6,657	4. 雑 負 債	391,998
2. 共済事業資産	739	5. 諸引当金	657,714
3. 経済事業資産	1,828,094	6. 繰延税金負債	8,970
4. 雑 資 産	387,869	負 債 の 部 合 計	92,150,199
5. 固定資産	2,350,334	(純資産の部)	
6. 外部出資	6,059,985	1. 組合員資本	7,047,722
7. 繰延税金資産	66,024	(1) 出資金	2,073,791
		(2) 資本準備金	8,927
		(3) 利益剰余金	4,965,004
		2. 評価・換算差額等	△ 69,393
		(1) その他有価証券評価差額金	△ 69,393
		純 資 産 の 部 合 計	6,978,328
資 産 の 部 合 計	99,128,528	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	99,128,528

3. 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
1. 事業総利益	1,330,840	(9) その他事業収益	478,601
(1) 信用事業収益	335,982	(10) その他事業費用	320,374
資金運用収益	313,263	その他事業総利益	158,227
役務取引等収益	14,143	2. 事業管理費	1,101,220
その他経常収益	8,574	(1) 人件費	863,412
(2) 信用事業費用	97,442	(2) 業務費	68,675
資金調達費用	3,231	(3) 諸税負担金	38,412
役務取引等費用	5,325	(4) 施設費	127,278
その他経常費用	88,886	(5) その他事業管理費	3,441
信用事業総利益	238,539	事業利益	229,619
(3) 共済事業収益	395,913	3. 事業外収益	132,836
(4) 共済事業費用	51,278	4. 事業外費用	21,690
共済事業総利益	344,634	経常利益	340,765
(5) 購買事業収益	2,939,354	5. 特別利益	12,323
(6) 購買事業費用	2,520,715	6. 特別損失	16,587
購買事業総利益	418,639	税引前当期利益	336,502
(7) 販売事業収益	229,091	7. 法人税、住民税及び事業税	84,670
(8) 販売事業費用	58,292	当期剰余金	251,832
販売事業総利益	170,799		

4. 主要勘定の状況

(単位：千円)

	令和4年2月末	令和4年8月末	増減
貯金	88,044,508	88,582,188	537,680
貸出金	19,822,717	21,423,176	1,600,459
預金	62,261,463	62,087,658	△173,805
有価証券	4,298,070	4,293,300	△4,770

5. 金融再生法開示債権(単体)

(単位：千円)

債権区分	令和4年2月末	令和4年8月末	増減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	8,001	6,872	△1,129
危険債権	2,800	23,135	20,335
要管理債権	0	0	0
正常債権	19,835,722	21,421,502	1,585,780
合計	19,846,523	21,451,510	1,604,987

6. 単体自己資本比率(国内基準適用)

令和4年2月末	令和4年8月末
15.64%	16.08%

(注) 令和4年8月末の比率は、次の方法により算出しています。

- 1 基本的に令和4年8月末の数値を用いて計算していますが、8月末時点の額を把握できないものについては、令和4年2月末の残高を使用しています。
- 2 令和4年2月末から令和4年8月末までの間に、特別に債務者区分の変更が必要と認識した先については、8月末時点の債務者の状況に基づき、必要な修正をしています。

7. 有価証券の時価

(単位：千円)

保有区分	令和4年2月末			令和4年8月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
満期保有目的	0	0	0	0	0	0
その他保有目的	4,289,445	4,298,070	8,624	4,389,227	4,293,300	△95,927
合計	4,289,445	4,298,070	8,624	4,389,227	4,293,300	△95,927

(注) 令和4年8月末の計数は、次の方法により算出しています。

- 1 8月末の有価証券の時価は8月末日における市場価格等に基づく時価としています。
- 2 取得価額は取得原価または償却原価によっています。